

平田出張所便り

国土交通省出雲河川事務所

第41号(1月25日版)

植生基盤(浅場造成)工事を行っています

出雲河川事務所では、現在宍道湖北岸の出雲市小境町から美野町に掛けての湖岸沿いで、植生基盤工事を行っています。工事内容は、現在水深が約1.0~1.5mの湖底に川砂を投入して、平均的な水深が0~0.8m程度の浅場を構築するものです。

浅場の整備により、湖岸の水際などにヨシなどの水生植物が育ち、植物の周りには魚介類や昆虫、水鳥などが集まり、宍道湖特産のヤマトシジミの稚貝の良好な生息場となる等、宍道湖における生態系の多様性向上が期待されます。それにより湖の自然浄化機能が向上され、宍道湖の水質浄化が期待されます。



工食用道路設置と川砂投入作業の施工状況



工事に先立ち、地元自治会や漁協・環境団体等の関係者を招いて、工事説明会を兼ねた情報交換会を開催し、浅場造成事業や工事に関するご意見等を頂きました。

< 担当者からのひとこと >

厳冬期で風雪や波浪など厳しい気象条件下にあって、水際の現場作業は容易ではありませんが、安全に注意しながら早期の完成を目指しています。